



安心メールでもお伝えしましたが、11月6日に発行した学校通信「南風NO.11」でお知らせした冬休みの期間に誤りがありました。大変、申し訳ありませんでした。重ねまして、お詫びして訂正させていただきます。

7日	火	委員会活動
9日	木	ピンクシャツ・デー
10日	金	みなかぜ塾
11日	土	土曜授業・学校運営協議会
17日	金	みなかぜ塾
24日	金	冬休み前校内テレビ放送
25日	土	冬休み(～1月10日)

### 「コミュニティ・スクールみなかぜ」の取組～あいさついっぱい大作戦～

10月は、地域の皆様や保護者の皆様の協力を得ながら、コミュニティ・スクールの取組として「あいさついっぱい大作戦」を「いつでも、どこでも、だれとでも」を合言葉に実施してきました。ある地域の方から「スーパーで会ったときに、子どもの方から、こんにちは！と声をかけられて感心しました。とても温かい気持ちになりました。」というお話をうかがいました。他にも、挨拶を頑張っている子どもたちの姿について、みなかぜあったカードでもメッセージをいただきました。

また、この期間中に、PTAの取組として「家族の会話を大切にしよう」というテーマで、家族からかけられた言葉の中で、心に残った言葉を子どもたちに記入してもらうという取組が実施されました。4日間の記録でしたが、子どもたちの中に、どのような言葉が残っていたでしょうか。「ありがとう」という感謝を表す言葉や「頑張ったね」という称賛の言葉など、様々だったと思います。強化月間としての取組期間は終わりましたが、「コミュニティ・スクール レインボープラン7か条」の第1条にある「挨拶、ふれあいを通して、子どもに自信と笑顔を」を校区全体で、より一層推進していきたいと思っています。

### 学習参観に係るアンケートへの御協力ありがとうございました

学習参観に係るアンケートへの御協力をお願いしたところ、27名の皆様に回答していただきました。御協力いただきありがとうございました。自由記述の内容から「お子さんの頑張る姿」「学級の雰囲気」「友達や先生とかかわりの様子」などを直接見ることができて安心されたことがわかりました。また、分散型にしたことで参観の人数が少なくてよかったという感想や、学級集会の必要性について回答された方もありました。ご回答いただいた内容について、今後の取組に生かすことができないか、検討していきたいと思っています。ありがとうございました。

### 「ひまわり」がつなぐウォームハートの輪

3年生が、収穫したヒマワリの種をどうするのか、話し合いました。コロナ禍のため、直接ふれあうようなことは避けようということになりました。そこで考えたのが、「風船で種を遠くの人まで届けよう」ということでした。11月6日の土曜授業の日に実行することになり、子どもたちの手から離れた風船は、「いってらっしゃーい」の声を聞きながら、どンドン西の方に飛んでいきました。



そして、嬉しいことに、次のようなお手紙が、子どもたちのもとに届いたのです。久留米からのお便りでした。

11月7日午後 庭に黄色の風船が飛んできました。封筒にひまわりの絵が描いてあり、種が入っています。遠くからとんできましたねえ。大切に育てます。ありがとうございます。小学校の皆様が元気で幸せでありますように。仲良く暮らせますように。 久留米の住人より

子どもたちも大喜び！久留米まで飛んでいったなんて、驚きと喜びでいっぱいになりました。子どもたちのウォームハートの輪が広がったことを感じました。

### 観劇会：英語劇「泣いた赤おに」

11月6日土曜日は、南風文化祭の予定でしたが、感染防止のため、ステージ発表やバザー等のイベントが中止となりました。午前中に予定していた観劇会だけは実施していただくことができました。この観劇会の費用は、南風校区の「まちづくり推進事業補助金」からいただいているものです。

内容は、英語劇「ないた赤鬼」で、6年生だけが体育館で観劇し、1年から5年まではライブ配信によって教室で観劇しました。英語だけではなく、日本語での解説も交えた英語劇でした。テレビでの観劇は、臨場感が十分ではなかったため、残念でしたが、終演した後、キャストの皆さんに教室をまわっていただくことができました。赤鬼さんと青鬼さんが各教室を訪れると、子どもたちは大騒ぎ！目をキラキラ輝かせながら近寄って、手を振ったり話しかけたりしていました。

このイベントは、校区の社会教育委員さんが中心になって進めていただいたものです。ご支援いただいた皆様、ありがとうございました。



### 地域とともにある学校づくり研修会

11月10日に、福岡県教育委員会主催の研修会が本校で開催されました。本校が掲げている「まちづくりは学校づくり、学校づくりはまちづくり」を理念とするコミュニティ・スクールのあり方について学ぶ研修会です。県下から50名ほどの教育関係者が集まって開催されました。

学校、家庭、地域の三者が「子どものために」それぞれの役割を果たそうと、組織的に動いている南風校区が、いかに素晴らしい地域なのかを改めて感じる事ができた研修会でした。



本校の取組についても説明する場があり、受講者の方々からは、次のような感想が寄せられました。

- 南風小の取組の素晴らしさと地域の方々の「子どものために」という気持ちに感心しました。地域からの学校への信頼の厚さを感じました。
- 本日の研修にあったように、学校も地域もWin-Winの関係になるための仕組みづくりが重要だと感じた。
- 地域の方々が様々な意見を出して下さるのは、学校が開かれている証拠であり、意見を出したり取り組んでいることが子どものためになっていると実感できているからだと思います。地域、家庭、学校が一体となって、様々な取組を組織的に行っている南風校区のよさを、今後も大切にしていきたいと強く感じました。